

## 日本発ドイツ便り:レーゲンスブルクの細い路地

ドナウ河から離れて、旧市街を散歩。どこからでも大聖堂が見えます。細い路地は迷路みたい。ときどき行き止まりがあったりします。



こんな感じの細い路地がたくさんあります。



路地から見上げた空。ちょっと不思議な風景ですね。路地の入り組み方がわかるってもんです。もうこんなに青空です。

面白い建物を発見。



旧市庁舎です。遠くからみると「絵」のように見えるこの建物。なにが面白いかわかりますか？



これは側面の写真です。窓に注目してください。1階と2階、同じように見えますが、1階の窓は描かれた窓。2階、3階の窓枠も「絵」なんです。上の正面からの写真も木組みのように見えるところは描かれた絵です。だまし絵ですね～。なかなかお洒落だと思いませんか？



市庁舎のお隣の塔のある建物は帝国議会。今は博物館になっています。  
ガイドツアーでのみ見学可能でしたが、今回は時間が合わずにパス。



床には紋章。1782年という年号が見えます。



ステンドグラスには、名前と日付が入っていました。選ばれた議員さんの名前でしょうか？



なんとなくたどり着いた司教さんの館を改装したホテルの中庭。いい雰囲気のレストランがありました。もちろん、天気の良い日は外でのんびり食事です！



こんな風景を見ながらのランチ(もちろんビールも)。夏ならではの楽しみ方です。



再び大聖堂へ。塔の高さは 105 メートル。ちなみにこのレーゲンスブルクは現法王様ともゆかりの街ですよ。  
レーゲンスブルク大学で神学・教義史の教授(のちに副学長)をされていたとか。  
現法王のお兄さんも聖職者でこの街出身だそうです。



中はこんな感じです。高い天井にステンドグラス。立派なパイプオルガンもありました。



大聖堂から歩いて2-3分。Alte Kapelle(アルテ・カペレ:古い礼拝堂。くらのの意味です)



ここは建物の外の印象は地味でしたが、中に入ってびっくり！こんなにきらびやかでした！不思議なことに、日本で発行されたガイドブックには、この礼拝堂、あんまり掲載されてないようです。こんなに綺麗なのに！



他にもまだお城などあるのですが、また雲行きが怪しくなってきた+電車の時間が近づいてきたので、駅に戻ります。(ニュルンベルクまでの直通電車は2時間に1本しかないのです！)  
途中の公園でこんな看板を発見。公園内に生えている木の名前が葉っぱの形と一緒に紹介されています。なかなか面白い+親切だなあと思いました。

ニュルンベルクから電車で1時間。ドナウ河沿いの世界遺産の街、レーゲンスブルクでした！